

## 平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	児童福祉事業助成		担当部局庁	社会・援護局 障害保健福祉部		作成責任者	阿萬 哲也			
事業開始・終了(予定)年度	昭和37年度		担当課室	障害福祉課 障害児・発達障害者支援室						
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること。						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	「在宅心身障害児(者)療育事業等助成費補助金について」等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	心身障害児(者)、保護者、及び施設職員等に対し、相談・療育指導、療育研修等を行うことにより、心身障害児(者)等の福祉の向上を図ることを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅心身障害児(者)及び保護者に対する相談、療育指導</li> <li>在宅心身障害児(者)の保護者、ボランティアを対象に、専門家による講義、実技指導等の療育研修</li> <li>在宅の障害児及びその家族に対し、医師等の療育担当者が宿泊をともにし、基本動作の指導及び機能訓練等を行う 等</li> </ul> 補助率:定額(10/10)									
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求				
		当初予算	56	47	47	46	47			
		補正予算								
		繰越し等								
	計	56	47	47	46	47				
	執行額	56	47	47						
執行率(%)	100.0%	100.0%	100%							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)			
	本事業は、相談・療育指導等を行うことにより、心身障害児(者)、保護者等の福祉の向上を図るものであるため、成果目標等を立てることにはなじまない。		成果実績	-	-	-	-			
			達成度	%	-	-	-			
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込			
	療育相談実利用者数		活動実績 (当初見込み)	人	16,260	15,429	集計中	-		
					(14,500)	(14,500)	(14,500)	(14,500)		
単位当たり コスト	1,574(円/人)		算出根拠	H23 相談事業費24,282千円/療育相談実利用者数15,429人						
平成 25 ・ 26 年度 予算 内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由						
	在宅心身障害児等相談事業費	24	24	統一単価による増						
	在宅心身障害児療育研修費	2	2							
	親子ふれあいキャンプ事業費	17	17							
	母子家庭等自立促進基盤事業費	3	4							
計	46	47								

事業所管部局による点検			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	本事業は、心身障害児(者)保護者及び施設職員等に対し、相談・療育指導、療育研修、親子ふれあいキャンプなどの事業を行うことにより、心身障害児(者)等の福祉の向上等を図ることを目的としているため、国費を投入しないと事業目的が達成できない事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、障害者基本法に基づき、同法の規定では国による障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策を総合的かつ計画的に実施する責務が定められていることから、国が実施すべきであると考えられる。
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	本事業は、心身障害児(者)保護者及び施設職員等に対し、相談・療育指導、療育研修、親子ふれあいキャンプなどの事業を行うことにより、心身障害児(者)等の福祉の向上等を図ることを目的としているため、優先度の高い事業である。
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	全国心身障害児福祉財団については、長年の活動実績があり、障害のある子どもとその家族への支援についてノウハウやネットワークを有している団体であるため、支出先の選定は妥当と考える。
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○	本事業については、平成23年度予算において、事業の精査等を行い、補助金の削減を行った。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	専門性を有する事業者へ必要な経費のみ支出されるとともに、毎年度、事業実績報告により実施状況を把握しており、合理的なものとなっている。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	本事業は、心身障害児(者)保護者及び施設職員等に対し、相談・療育指導、療育研修、親子ふれあいキャンプなどの事業を行うことにより、心身障害児(者)等の福祉の向上等を図るために真に必要な経費に限定している。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	家族等に対し、相談支援を行っている団体が実施することにより、より身近な支援を提供できる手段を講じていることから実効性がある。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は、ほぼ見込どおりとなっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	全国心身障害児福祉財団の支援のノウハウを活かし、研修等を通して、支援に携わる職員の質の向上を図っている。
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名
点検 結果	本事業は心身障害児者やその家族等に対する福祉の向上を目的として実施しているもので、その活動実績も概ね見込み通りとなっている。また、本事業の実施にあたって当該支援に係る知識・知見や支援のノウハウ等を有し、長年の活動実績がある(福)全国心身障害児福祉財団が支出先となっており、適切なものである。		
	外部有識者の所見		
外部有識者点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
現状 通り	本経費については、事業の必要性からの評価としても、概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めること		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
現状 通り	-		
備考			

関連する過去のレビューシートの事業番号

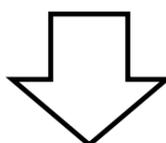
	平成22年	501	平成23年	454	平成24年	397
--	-------	-----	-------	-----	-------	-----

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

(平成24年度執行見込額)

厚生労働省 47百万円

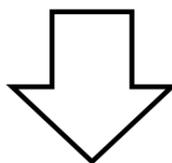
〔在宅の心身障害児、その保護者に対する相談事業等に要する経費〕



【補助】

A (福) 全国心身障害児福祉財団 47百万円

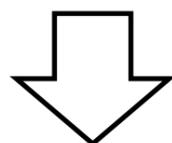
〔在宅の心身障害児に対する相談事業等を実施。一部事業については専門性を有する事業者へ委託〕



【委託】

B (財) 全国母子寡婦福祉団体協議会 3.7百万円

〔母子家庭の母及び寡婦の福祉の向上を目指した研修会を開催〕



【委託】

C (財) 全国母子寡婦福祉団体協議会各地区団体(6ブロック) 2.6百万円

〔母子家庭の母及び寡婦の福祉の向上を目指した研修会を開催〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A (福)全国心身障害児福祉財団			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
謝金	相談員、講師に対する謝金	23.6			
その他	賃金、通信運搬費、旅費、消耗品等	19.2			
委託費	施設職員通信教育事業の委託 (財)全国母子寡婦福祉団体協議会	3.7			
計		47	計		0
B (財)全国母子寡婦福祉団体協議会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	地区別ブロック大会委託費	2.6			
その他	通信運搬費、旅費、会議費等	1.1			
計		4	計		0
C (財)山口県母子寡婦福祉連合会			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	会場使用料、謝金、印刷製本費等	0.86			
計		1	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(福)全国心身障害児福祉財団	在宅の心身障害児、その保護者に対する相談事業等	47		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)全国母子寡婦福祉団体協議会	自立促進のための就労情報交換会等を開催	3.7		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人山口県母子寡婦福祉連合会	母子家庭の母及び寡婦の福祉の更なる向上を目指した研修会を開催	0.86		
2	財団法人神奈川県母子寡婦福祉連絡協議会	母子家庭の母及び寡婦の福祉の更なる向上を目指した研修会を開催	0.36		
3	公益財団法人富山県母子寡婦福祉連合会	母子家庭の母及び寡婦の福祉の更なる向上を目指した研修会を開催	0.35		
4	社会福祉法人滋賀県母子福祉のぞみ会	母子家庭の母及び寡婦の福祉の更なる向上を目指した研修会を開催	0.35		
5	社会福祉法人熊本県母子寡婦福祉連合会	母子家庭の母及び寡婦の福祉の更なる向上を目指した研修会を開催	0.35		
6	財団法人山形県母子寡婦福祉連合会	母子家庭の母及び寡婦の福祉の更なる向上を目指した研修会を開催	0.35		
7					
8					
9					
10					